

符号理論 (Coding Theory) 達成度評価リスト

2022 年度(令和 4 年度)

到達目標	レベル 3	レベル 2	レベル 1	備考
1. 生成行列, 検査行列, シンドロームと用いて, 線形符号の符号化, 復号を実行できる.	与えられた問題に対し, 線形符号の符号化, 復号を正しく実行できる.	与えられた問題に対し, 線形符号の符号化, 復号の方法を理解している.	与えられた問題に対し, どの行列, ベクトルを用いれば良いかを理解している.	
2. 生成多項式とシンドローム多項式を用いて, 巡回符号の符号化, 復号を実行できる.	与えられた問題に対し, 巡回符号の符号化, 復号を正しく実行できる.	与えられた問題に対し, 巡回符号の符号化, 復号の方法を理解している.	与えられた問題に対し, どの多項式を用いれば良いかを理解している.	
3. 論理回路を用いたハミング符号の符号化回路, 復号回路の動作を理解し, 符号化, 復号を実行できる.	与えられた問題に対し, 回路を設計し, 符号化, 復号を正しく実行できる.	与えられた問題に対し, 回路を設計し, 符号化, 復号の方法を理解している.	与えられた問題に対し, 符号化回路, 復号回路を設計できる.	
4. 自動再送制御方式の動作を説明できる.	与えられた問題に対し, 自動再送制御方式の動作と, 方式による違いを正しく説明できる.	与えられた問題に対し, 自動再送制御方式の動作を正しく説明できる.	与えられた問題に対し, どの再送制御方式を説明すれば良いかを理解している.	

※原則として, 全ての到達目標に対してレベル 1 以上を合格とします.